


事業報告書

講座名	読谷村職員労働組合女性部 40 周年記念講演会「困難を乗り越え、女性として輝いて生きる」 (読谷村職員労働組合女性部プレゼンツ【講演会】)
日時	平成 30 年 11 月 17 日 (土) 14:00 ~ 15:30
目的	<p>女性部結成 40 周年の記念の節目を迎え、会員及び関係者と祝うと共に、女性部の活動は地域や社会との関わりを通して行ってきたことを踏まえ、地域住民の皆さんへ社会貢献として、共に学びあう講演会を開催し、今後も地域活動を根ざす取り組みを継承することを目的に行う。</p> <p>今回の講師は、村内在住の松山真由美さんをお招きし、ご自身の経験を通して、他者理解はもとより性別や障がいを超え女性として素敵に生きることを通して、真のバリアフリー社会づくりの意識高揚を図る。人にやさしくできる事は、思いやりのある地域・社会・組織を創ることとなる。社会全体の活性化を目指し開催する。</p>
対象	村民一般成人 (在勤者も含む)
講師	松山真由美氏 (盲目セラピスト)
会場	読谷村社会福祉センター2 階ホール
定員	- 名 (申込者数 : - 名)
参加者数	110 名 (男性 30 名 ・ 女性 80 名)
講演内容 (概要)	<p>読職労女性部結成 40 周年の記念の節目を迎え、平成 30 年 9 月 29 日開催を予定していた講演会が台風襲来により延期を余儀なくされました。当初の目的通り会員の資質向上及び地域貢献活動として、再度の企画実施を行い、広く村内外への広報を行い、多くの参加者へ感動と勇気、そして、生きる希望を与える講演会となりました。</p> <p>講演会演題「松山真由美氏 講演会 困難を乗り越え、女性として輝いて生きる」講演は、①読谷村との出会い、人と人のご縁の中で②突然の病気による失明③現実を受け止め、結婚、キャリア取得、これからの夢④盲導犬との生活、読谷大好きの内容構成で 90 分間行いました。講演会は、手話通訳・磁気ループ設置及び子育てサポート環境を整え、誰もが気軽に参加しやすい環境を整え多くの参加者がありました。</p>
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・前向きなところはすごい方だと思います。途中で視覚を失うことはどんな気持ちなんだろうと思います。すごい強い気持ちを持っている方だと思います。 ・精一杯頑張っている様子が素晴らしいと思った。女性として輝いていることに乾杯です。 ・笑顔がステキ。苦難を経験にかえ、人を元気にする力がみなぎっている。目が見えない分、「助けて欲しい」と思うのではなく、日本中を笑顔にしたいという心が美しく感動しました。前向きな言葉を発することで人生を変えていくこと。私自身も努力したいと思いました。 ・前向きで元気がもたらえた。 (一部抜粋)
写真	
共催	(公財) おきなわ女性財団